

令和2年度あわらし行政評価外部評価委員会会議録（要旨）

- 1 日 時 令和2年11月13日(木) 13:30～16:45
- 2 場 所 あわらし市役所101会議室
- 3 議 題 ・行政評価（施策）の外部評価
- 4 資 料 ・令和2年度施策評価シート
- 5 出席者 委員：桑原美香（会長）、長谷川委員、堀江委員、関委員、笹原委員
 内部委員：城戸橋副市長、小嶋創造戦略部長
 土木部：永井土木部長、伊藤土木部理事、岩田上下水道課長
 創造戦略部：常廣市民協働課長
 経済産業部：武田経済産業部長、伊藤経済産業部理事、大角農林水産課長、
 中島商工労働課長、堀江観光振興課長、中辻鳥獣害対策室長
 総務部：後藤総務部長、江守総務課長、山口防災安全対策室長
 事務局：江川政策広報課長、藤田政策広報課長補佐、西田政策広報課主査

6 会 議

- ・委員の出席状況の報告（坪田委員、伊藤(和)委員、伊藤(幸)委員が所要のため欠席）
- ・議事

※以下の議事録において、施策番号は【 】, 事務事業番号は< >で表記する。

会長	令和2年度行政評価に係る外部評価に関し事務局の説明をお願いする。
13:30～	
会長	施策番号【22】について説明をお願いする。
事務局	(【22】上水道事業の運営の説明)
会長	【22】について意見や質問はないか。
堀江委員	経営状況が悪い理由は何か。
副市長	人口減少、節水型機器の普及が原因として考えられる。
堀江委員	県水の負担金の影響もあるのではないか。県との交渉は単価引き下げ、坂井市とは費用負担割合の交渉をする必要がある。
副市長	当時の算定根拠として、今後も人口が増えていく、観光客も増えていくという仮定で設定している。引き続き協議していく。
長谷川委員	来年度の4月から値上げすると思うが、収支の改善見込みはどうか。
岩田課長	歳入で5,000万円ほど増額となるが、市からの補填は必要。
副市長	20%上げたい思いがあったが、負担を考慮して10%にし、さらに2年後に

	10%値上げさせていただきたいと考えている。
堀江委員	値上げを延期したが、その分の減収はどの程度か。
副市長	1,000万円ほどの減収だが、コロナ関連の交付金を充てる予定。
堀江委員	有収率が下がっている理由は何か。
岩田課長	理由としては、稲荷山、吉崎配水池において漏水等の原因が考えられる。 詳細は現在、調査中。
堀江委員	この数字だけみると、一日に1,000 t 以上も出ている。本当に漏水が原因なのか、これだけ下がってくるとほかの原因もないのか調査する必要がある。
長谷川委員	修繕計画の年間予算はどのくらいか。
岩田課長	経営戦略に基づき実施している。抜本的な更新はできないが、ダウンサイジングも検討に実施する予定。
永井部長	一番老朽化している施設、配水場の統合も視野に検討している。
会長	施策番号【23】について説明をお願いします。
事務局	(【23】下水道事業の運営の説明)
会長	【23】について意見や質問はないか。
堀江委員	下水道事業も収支がよくない。 下水道の多面的な効用を考慮した補助制度も、国へ要望していく必要がある。
伊藤理事	全国的な話で、なかなか難しいと思うが、更新にかかる補助金の拡大などは引き続き要望していきたいと考えている。
会長	施策番号【8】について説明をお願いします。
事務局	(【8】人権の尊重の説明)
会長	【8】について意見や質問はないか。
笹原委員	男女共同参画のつどいの参加人数が下がっている原因は何か。
常廣課長	これまでは女性活躍、女性頑張れという視点であったが、福井県においては、女性はすでに頑張っている。今後は、男性も共に協力しながら家事をやっていくという視点で検討している
笹原委員	男女共同参画ネットワーク会議のメンバーの高齢化についてどう考えるか。
常廣課長	委員の推薦の際には、世代交代や年齢を考慮して選定するよう検討する。
笹原委員	委員選定の方法として、50歳以下など制限を設けるのも必要ではないか。

堀江委員	参加する人は興味のある人のみ、すそ野を広げるために、他の行事を合わせて開催するなどの工夫が必要。専門的な内容と、人を集めるための内容を組み合わせた形にするのいいのではないか。
常廣課長	検討する。
会長	施策番号【31】について説明をお願いします。
事務局	(【31】交流の推進の説明)
会長	【31】について意見や質問はないか。
堀江委員	交流人口はどのように算出しているか。
小嶋部長	姉妹都市との交流した人数。あわら市の団体が相手側に行った人数や、こちらに来た人数をカウント。
堀江委員	向こうの方がこちらに来た場合に、補助を出すなど特典が必要ではないか。
小嶋部長	バス代、宿泊などの補助を出している。
笹原委員	姉妹都市である香美市、下妻市は移動時間がかかるため、途中まで飛行機を認めるなどの対応が必要。呼びやすい、行きやすいという仕組みが必要。ゆかりのある人を呼ぶ場合の補助などはあるのか、そういった人を呼ぶようなときに、実費で来てくれというのは難しい。何かしら交通費だけでも補助すると、あわら市に対して何かしら思いがある人をこちらに呼べるのではないかと思う。
副市長	検討していく。
会長	施策番号【25】について説明をお願いします。
事務局	(【25】農業の振興の説明)
会長	【25】について意見や質問はないか。
堀江委員	農地の適正管理について、休耕地の耕作率だが、畑は回転をうまくしていかないと難しい。転作障害が起きないように対策ができないか。
武田部長	品種によって工夫はしているが、抜本的な解決案は現在ない。 農地の貸し借りの状況もあり、休耕中にも賃借料が発生しているのも問題だと考えている。農地中間管理機構とも連携し、検討していく。
会長	新規就農者が増えている要因は何か。
武田部長	県の園芸カレッジがあることで基本的なスキルを学べること、里親制度を活用し、プロの農家で研修することができ、農業へのハードルを下げ、就農に結びついているのではないかと考えている。

会長	新規就農者は現在も、農業を続けているのか。 農家同士にもネットワークがあるため、何かうまくいかないとその集団には入れなくなってしまうという風潮があると聞いたこともあるが。
大角課長	1名のみ離農したが、他の方については続いている。 20代後半から60代までいる。ここに記載の数値は、独立した人のみで、どこかの法人で雇用されている人ではない。
会長	農業の後継者不足について、1年で離農する話もあり、今後も定着するようしていただきたい。
堀江会長	定年後に就農する人の割合のほうが多く、新規就農だけで、担い手を補うのは難しい。定年後にやってみようという人が一定数いるはずで、その人達を取り込むような取り組みも今度考えていく必要があるのではないか。
大角課長	新規就農奨励金という助成がある。
副市長	そもそも、自分の農地で定年後に農業をするのは、新規就農の定義からは外れる。
堀江委員	技術を磨くような場所が必要ではないか。
武田部長	園芸カレッジは年齢に関係なく入ることができる。
会長	施策番号【26】について説明をお願いします。
事務局	(【26】林業の振興の説明)
会長	【26】について意見や質問はないか。
会長	森林の所有者境界ははっきりしているのか。
大角課長	坂井森林組合で実施しているが、不明な箇所について森林環境譲与税を活用して実施。川上から川下までの協議会を設置して情報共有している。
会長	木材の供給量はどの程度か把握しているか。
大角課長	ある程度把握している。
会長	木質バイオマスについて、国、県との連携はできているのか。
副市長	大野市のようなものではなく、温泉を温めるなど、地産地消のような形で実施している。
会長	施策番号【27】について説明をお願いします。
事務局	(【27】水産業の振興の説明)
会長	【27】について意見や質問はないか。
会長	外来魚の捕獲量はどのくらいか。

大角課長	ブルーギル110匹 雷魚45匹 ブラックバス43匹 捕獲というよりも、通常の漁をする中で網にかかった数字。
副市長	稚魚を放流する際も、ブルーギルに食べられないような大きさにまで育ててから放流するようにしている。
笹原委員	観光漁業はどうか。
武田部長	波松だと地引網体験を実施している。北潟湖の内容だけでなく波松に関する内容も記載が必要ではないか。
副市長	一般的なことについては、北潟湖がメイン。波松の小女子は2、3年とれていない。湖の活用が大きな課題であるため、漁業と連携したものが必要だと考えている。
会長	施策番号【28】について説明をお願いします。
事務局	(【28】工業の振興の説明)
会長	【28】について意見や質問はないか。
堀江委員	<178>に関連して、外部から誘致するより、市内企業向けに推進したほうがいいのではないか。
副市長	市内の事業者のほうが多い。
長谷川委員	市に入る税金はどのくらいか。
中島課長	令和元年度、中部工業団地のみで2億3千万。
副市長	今年の予算ベースで5億ほど。
笹原委員	労働者数自体を増やすような施策はあるのか。企業誘致も大事だが、人口減の中、あわら市で働く労働者のメリットを広めるといった施策も必要ではないか。
武田部長	奨励金や補助金で雇用を守る施策をしている。
副市長	勤労者向けの住宅を作ったらどうかとの要望もあるが、次の段階の施策は慎重に検討すべきだと考えている。 製造業が中心のため、若者のニーズに合わない場合があるが、企業等魅力紹介ガイドブックを作成し、成人式や高校生に配布するなどしている。
会長	施策番号【29】について説明をお願いします。
事務局	(【29】商業の振興の説明)
会長	【29】について意見や質問はないか。
会長	空き店舗の所有者や、出店しそうな人への打診などは進めているのか。

中島課長	改修に係る費用として、空き家空き店舗へ出店する人を対象に、補助率1/2、補助額上限150万円の制度がある。
会長	活用できる空き家、空き店舗の数はいくつか。
中島課長	駅前の場合、3店舗ある。新幹線開業に合わせて、何か創業してもらおうよう検討中。
笹原委員	商工会の組織率が下がってきていることに反して、指標は上がっている。この要因は何か。
武田部長	市民アンケートの結果だが、自宅と職場の間に買い物する場所があるようなエリアだと高い傾向がある。
笹原委員	街中の商店がつぶれ、大手しか残らないような現状になっており、なにか対策が必要。
武田部長	既存の商店のでこ入れなどは必要だと考えている。
副市長	プレミアム商品券の一部は地元の商店しか使えないといった仕組みも必要だと考えている。
堀江委員	芦原温泉駅の出店だが、業種の選定が大切。 物品販売で成り立つのかは疑問。ビジネスホテルとセットに考えた選定が必要。そういった施策がないとビジネスホテル自体の経営も厳しいと思う。
副市長	完成系のイメージを早めにだし、出店者への周知も必要。
会長	施策番号【30】について説明をお願いします。
事務局	(【30】雇用環境の充実の説明)
会長	【30】について意見や質問はないか。
会長	企業等魅力紹介ガイドブックに対して中高生の反応はどうか
中島課長	成人式、中高生、大学の就職課に配布。 中学校では職場体験など授業の中で使用し、生徒が企業を訪問している。 高校では、掲載企業の職員とワークショップ形式で意見交換を実施。 Uターンを見越して、早くからキャリア教育を実施している。 ふるさと教育にもつながっていると考えている。
武田部長	父兄にも浸透している。
会長	長期的な視点が必要、ぜひ続けてほしい
会長	施策番号【30】について説明をお願いします。
事務局	(【30】雇用環境の充実の説明)

会長	【30】について意見や質問はないか。
堀江委員	観光入込客数を指標にとっているが、次回以降の見直しとして、観光消費額や、雇用額などの指標も検討する必要があるのではないか。観光入込客数は今後減少していく一方なので、客単価を上げるなどプラスになるような指標も追加したほうが良いと考える。
武田部長	観光消費額などが一般的な指標になっている。地域がどれだけ豊かになったかなどの指標がベースになっていく。
笹原委員	事務事業のうち、多くの指標が観光入込客数を使用しており、事業自体が評価できない。
武田部長	次回以降改善する。
会長	観光振興戦略を作っているが、「観光情報等が効果的に発信されていると考える市民の割合」の指標はおかしい。 情報は市内ではなく、市外に出すべきで、出すべき情報は対象によって変わる。顧客を考えながらツールを利用するなど、詳細な落とし込みができていない。
武田部長	この指標については問題があると感じている。
長谷川委員	GOTOトラベル効果により大型の旅館はお客さんで賑わっているが、中小の旅館は苦戦しているような話も聞いている。そのような旅館も支援する必要があるのではないか。
武田部長	コロナの影響で、修学旅行は近隣市町に行くことが多く、県内の子どもたちが芦原温泉を初めて体験できたことや、身近な魅力を体験できたことがよかった。 また、中小の旅館は、学生の合宿をメインでやっているところもあり、その辺りは動向を注意深く観察していく必要がある。
笹原委員	宣伝方法について、戦略的にターゲットを絞ってやっていると思うが、駅を降りたら、どこに行ったらいいのかわからないなどの問題がある。 この指標では見えてこない。 市民の理解を促すようなこと、見える化することが大切で、そういった施策が魅力度のアンケートの数値上昇につながるのではないか。
武田部長	変化してくことを伝えることも大切だと考えている。
笹原委員	ちはやふるはいつまで実施するのか。
副市長	5年目に入ってきたが、アニメや単行本が続くかぎり続けたいが、昔に比べてキラーコンテンツにはなっていない。今後は競技かるた拡大にも繋げ

	ていきたい。
笹原委員	何か区切りが必要。市民も飽きてしまうし、地元も冷めてしまう。 作者を呼んで、一つの区切りとするなど検討が必要ではないか。
武田部長	ちはやふるのファンにもさまざまな種類のファンがいる。声優のファン、アニメのファン、などそれぞれにターゲットを絞っていくことも必要。
会長	施策番号【3】について説明をお願いします。
事務局	(【3】地域防災の強化の説明)
会長	【3】について意見や質問はないか。
長谷川委員	温泉街の雨水を竹田川に出す排水機場が2つしかないが、問題ないのか。
副市長	竹田川の浚渫を実施し、水の流れを良くしている。ただ、昔と比較し、雨の降り方が違う。ハザードマップの見直しもかけている。 排水機場までの水路を広げたり、分流したりすることで温泉街の水を出すよう対策している。排水機場のメンテナンスも十分に検討しながらやっている。
笹原委員	防災出前講習や子ども会の会長などの情報を整理していただいて、横の連携が取りやすくなったことで、地域の防災力は向上していると感じている。しかし、この効果は、現在の指標からは見えてこないため、何かの指標があったほうがいい。
江守課長	活動していない組織も多く、3割程度が活動していると感じている。防災士の会と連携してやっていきたい。
笹原委員	防災行政無線について、何か改善しているような点はあるのか。
後藤部長	防災行政無線は情報伝達手段の一つで、防災メールなどと組み合わせてやっていくことが必要。 個別受信機もあるが、逆にうるさいとの問題がある。
関委員	今年の雪への対策はどうか。
副市長	市が担当するのは市道で、重要な1次路線は5センチ、その他の一時路線は10センチ、生活道路は2次路線として15センチで除雪。 前回は国道が止まってしまったことが主な原因で、除雪計画の見直しを実施している。
小嶋部長	市道専用の機械を確保し、パトロール体制も充実させている。 除雪の順序なども変更し、対応している。
副市長	一人暮らしの玄関先の道を開ける、屋根の雪下ろしをするようなことが昔

	<p>はあった。しかし、今はその風習がない。</p> <p>まずは自助共助の部分を進捗していく必要がある。</p> <p>また、小型の除雪機を購入し、狭い道路にも対応できるようにした。</p>
会長	施策番号【32】について説明をお願いします。
事務局	(【32】市民主役のまちづくりの説明)
会長	【32】について意見や質問はないか。
堀江委員	<191>について、指標の数値は大きく変わらないが、事業費が増加している理由は何か。
副市長	集落ときめき活動事業補助金を創設したことによる。
堀江委員	<p><196>について、行政情報が分かりやすく公開されていると考える市民の割合について、事業名との相関がとれていないのではないか。事業名では市民アンケートの指標を使わないほうがいいのではないか。</p> <p>市民アンケートの結果は、事業自体の評価ではないところで変動する可能性がある。この指標だけでは、この後の施策が出しにくい。</p>
江川課長	<p>(施策体系の概要を説明)</p> <p>指標の選定については、今後検討する。</p>
会長	施策番号【33】について説明をお願いします。
事務局	(【33】情報化の推進の説明)
会長	【33】について意見や質問はないか。
会長	産業支援センターでの情報漏洩や、システムダウンによる作業停止などがあった。また、委託料が大手業者の言いなりになりがちだと思うが、どう考えているか。
副市長	<p>国が全自治体の統一システム構築を進めていることから、今後そういった問題は減っていくと考えている。</p> <p>GIGAスクール構想について、1人1台のタブレット端末を導入しているが、教える側の問題もある。</p>
笹原委員	<p>ホームページでの市長の情報発信について、市長のメッセージがホームページでは更新されていないため、更新が必要ではないか。</p> <p>定例記者会見のみで、市長のメッセージが伝わらない。</p>
江川課長	市長のメッセージは、何かあったときに更新するもので、定期的に更新するようなものではない。

会長	施策番号【34】について説明をお願いします。
事務局	(【34】健全な行財政の運営の説明)
会長	【34】について意見や質問はないか。
会長	ふるさと納税のコスト率はどの程度か。
小嶋部長	返礼品と手数料など差し引き50%ほど。
会長	目を引くものがないと、あわら市にたどり着かない。 単なる物品ではなく、市の観光につなげたり、消費が増えるものがないと つらいのではないか。
小嶋部長	ゴルフや旅館のクーポンなども用意しており、返礼品の数も増やしなが ら、寄付額増加に向けて施策を展開していきたい。
会長	本日本日の案件はすべて終了した。以上で、今年度のあわら市行政評価外 部評価委員会を終了する。